

ルントウに手紙を書こう

ディベート後の生徒の考えを手紙形式でまとめる

お元気ですか。私は、こちらに来てから、いろいろありましたが、まあまあ元気にやっています。シュイションは元気ですか。ホンルがとても会いたがっています。

ところで、昔のことをあなたは覚えていますか。あの頃は私も何も知らずにホンルとシュイションのように無邪気に遊んでいましたね。私はあの時が永遠に続けばいいと思っていました。しかし、やはり永遠というものはないのですね。あなたも私も変わってしまったのですね。

私はあの時、あなたと話したいことがたくさんありました。しかし、それが言葉になりませんでした。どうしてなのか私にはわかりませんでした。

でも、今ならわかります。ホンルとシュイションには、私たちのようになってしまわないように願っております。

もし今度、生まれかわることができたら、私たちはきつととても仲良しになるでしょう。その時は、互いに隔絶することのないようにしたいものですね。

また、いつかお会いしましょう。さようなら。

永遠の友 ルントウへ

やあ、ルントウ、久しぶりだね。

故郷の生活はどうだい？わたしの方は引っ越したから・・・。

そっちに比べると便利なんだけど、人々との交流にまだはじめなくて、すぐに故郷のことを思い出しちゃうんだよな。昔のようにルントウと仲良くしたいな。だけど、この前、帰郷したとき、「だんな様！・・・」って言われたのはショックだったな。何十年経ったって、ルントウはルントウで、わたしはわたしで、昔のままなのに。あんな他人行儀でさ・・・。今度からは、ちゃんと昔みたいに「シュンちゃん」って呼んでくれよ。

話は変わるけど、シュイションとホンルが約束したみたいなんだ。今度帰郷したら、シュイションの家へ遊びに行くって。故郷がないのに帰郷するってなんか変な話だけど、二人にはいつまでもいい友達でいてほしいなって思うんだ。

やあ、ルンちゃん。久しぶりだね。わたしは、今日この地へ着きました。引っ越しの船の上でルンちゃんとわたしの小さかった頃を思い出していました。楽しかったあの頃と比べると、無くしたものもたくさんあるようなそんな気がしてきます。

ルンちゃん、多分、今の生活苦が続くと思いますが、頑張ってください。ホンルもシュイションに会いたがっています。わたしとルンちゃん、シュイションとホンル。同じような年齢という関係である今のあの二人に、わたしのような人生をたどってほしくないと思うのが、わたしの思いです。戻らない過去を捨てて、まず今は生きます。

ルンちゃん、貧しさに動じないでください。また、きつと会おうね。ルンちゃん。